

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【公開番号】特開 2019-216899 (P2019-216899A)
 【公開日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-052
 【出願番号】特願 2018-115715 (P2018-115715)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 29 日 (2020.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
設定操作にもとづいて複数段階の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、
設定されている設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な有利状態制御手段と、
遊技者の動作を検出可能な動作検出手段と、
いずれの設定値に設定されたかを特定可能な設定値情報を出力可能な情報出力手段と、
設定された設定値を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、
前記情報出力手段は、電源投入されたときにおいて前記設定値情報を出力可能であり、
前記示唆演出実行手段は、
前記有利状態に制御されるときと前記有利状態に制御されないときとの両方で前記示唆演出を実行可能であり、
設定された設定値を 2 種類の示唆態様により示唆可能であり、
前記動作検出手段によって遊技者の動作が複数回検出されることに応じて、前記示唆態様を変化させることにより示唆する設定値が変化する前記示唆演出を実行可能である
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

設定操作にもとづいて複数段階の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能に構成され、設定されている設定値にもとづいて有利状態の制御を実行可能に構成されたパチンコ遊技機として、例えば、特許文献 1 に記載されたものがある。特許文献 1 には、設定値にもとづく演出の表示制御を行い、麒麟、ゾウ、ライオンの各キャラクタ画像を表示させる処理を所定のタイミングで実行することが記載されている。また、所定のタイミングとは、例えば特別図柄の変動時などが考えられるが、さらに定期的（全変動時、所定変動回

数ごとなど)でもよいし、不定期(乱数抽選で当選した場合など)であってもよいことが記載されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2010-200902号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1に記載の遊技機にあっては、設定されている設定値にもとづいて有利状態の制御を実行可能に構成した遊技機において、必ずしも演出効果を高めることはできない。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定されている設定値にもとづいて有利状態の制御を実行可能に構成した遊技機において、演出効果を高めることができるようにすることを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A)上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、設定操作にもとづいて複数段階の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

設定されている設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な有利状態制御手段と、

遊技者の動作を検出可能な動作検出手段と、

いずれの設定値に設定されたかを特定可能な設定値情報を出力可能な情報出力手段と、

設定された設定値を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

前記情報出力手段は、電源投入されたときにおいて前記設定値情報を出力可能であり、

前記示唆演出実行手段は、

前記有利状態に制御されるときと前記有利状態に制御されないときとの両方で前記示唆演出を実行可能であり、

設定された設定値を2種類の示唆態様により示唆可能であり、

前記動作検出手段によって遊技者の動作が複数回検出されることに応じて、前記示唆態様を変化させることにより示唆する設定値が変化する前記示唆演出を実行可能であることを特徴とする。

この特徴によれば、設定されている設定値にもとづいて有利状態の制御を実行可能に構成した遊技機において、演出効果を高めることができる。

(1) また、遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 ）であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図 9（D）、（F））。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。